

Basic ルータレンタルサービス (EasyRAS) ユーザマニュアル

[ご利用者さま向け]

2020年4月27日 Version 1.0

ソニービズネットワークス株式会社

著作権情報

本ドキュメントは、著作権法で保護された著作物で、その全部または一部を許可なく複製したり複製物を配布したり、あるいは他のコンピュータ用に変換したり、他の言語に翻訳すると、著作権の侵害となります。

ご注意

予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。また、本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。

本書には利便性のために他社ホームページのURLを記載しておりますが、情報が古くなっている場合があります。その際はご了承いただくとともに、お手数ですが弊社までご一報いただけると幸いに存じます。

商標表示

記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

改定履歴

Version	リリース日	改訂内容
1.0	2020年4月27日	・初版
		・
		・
		・
		・

Version ナンバー変更ガイドライン

誤字脱字の修正、文書・図・表の差し替えなど手順の変更がない場合：例 Ver 1.0 ⇒ Ver 1.1

サービスのバージョンアップ、仕様変更に伴う手順の変更がある場合：例 Ver 1.0 ⇒ Ver 2.0

目次

1	はじめに	5
1-1	本サービスの概要	5
1-2	本マニュアルの目的.....	5
1-3	注意事項	5
1-4	ご利用のイメージ	5
1-5	設定フロー.....	6
1-6	設定情報	6
2	Windows 10 の接続設定例	7
2-1	VPN 接続設定	7
2-2	VPN 接続方法およびエラーメッセージ.....	12
2-3	切断方法	15

1 はじめに

1-1 本サービスの概要

Basic ルータレンタルサービス(EasyRAS) (以下、本サービスという) は、センチュリーシステムズ製ブロードバンドルータ FutureNet NXR-530(以下、本ルータという) を簡易的なリモートアクセス(L2tp/IPSec)用機器として提供するルータレンタルサービスです。

本サービスは、システム管理者さま (以下、管理者さま) がおこなうルータの初期設定と、リモート接続をご利用される方 (以下、ご利用者さま) がおこなうクライアント PC 設定の 2 つをおこなう必要がございます。

1-2 本マニュアルの目的

本マニュアルは、管理者さまの指示のもとご利用者さまが円滑に設定できるよう、PC 端末の設定の例を示した、ご利用者さま向けのマニュアルとなっております。

重要

- 本マニュアルでは Windows10 の設定例を記載しております。他の OS またはデバイスの設定方法についてはお客さまにてご確認ください。

管理者さまがおこなう設定は、別マニュアルでご案内しており、本マニュアルでは割愛しております。

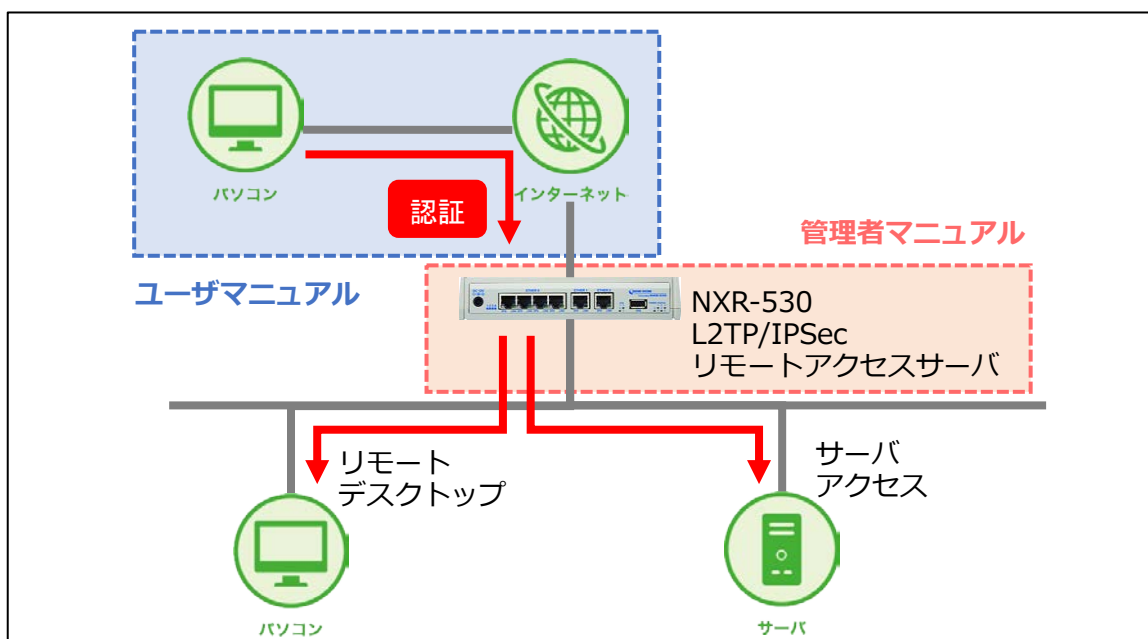
1-3 注意事項

OS 上で動作するリモートアクセスサービスの一部は併用してご利用いただくことができない場合がございます。

1-4 ご利用のイメージ

本サービスの基本構成は下図のとおりです。

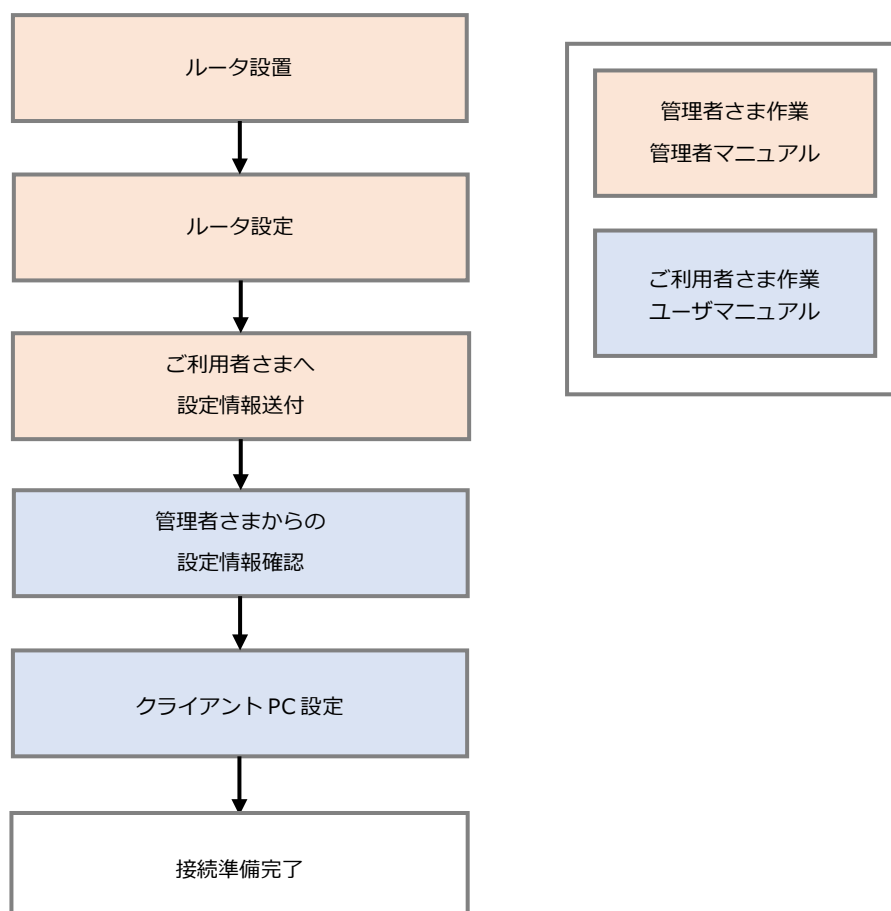
本マニュアルではユーザマニュアルの設定範囲について記載しております。



1-5 設定フロー

以下の流れで設定を行います。

本マニュアルはユーザマニュアルの設定範囲を記載しています。



1-6 設定情報

リモート接続をおこなうには以下の設定情報が必要です。

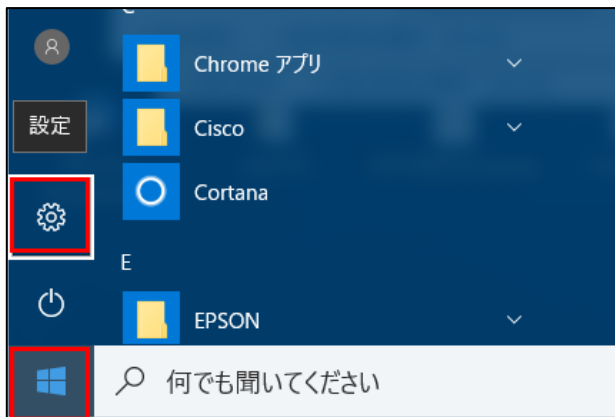
管理者さまから以下の情報を受け取り、VPN 設定をおこなってください。

必要な設定情報	Windows の設定項目名
本ルータの WAN 側 IP アドレス	サーバー名または IP アドレス
ログイン ID	ユーザー名 (オプション)
ログインパスワード	パスワード (オプション)
事前共有鍵	事前共有キー

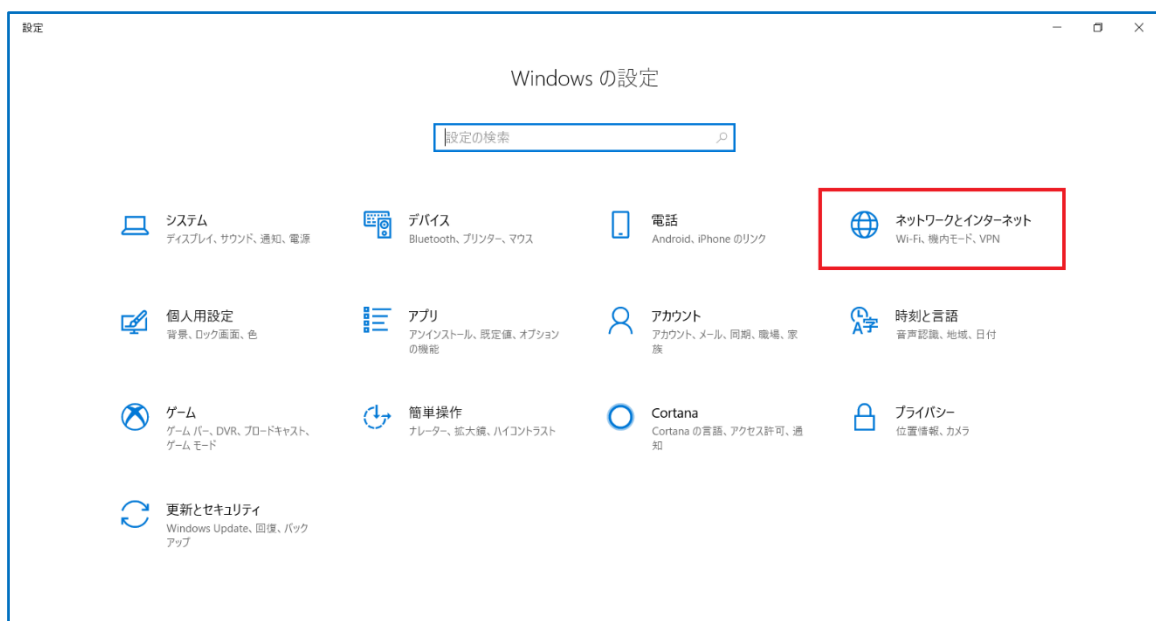
2 Windows 10 の接続設定例

2-1 VPN 接続設定

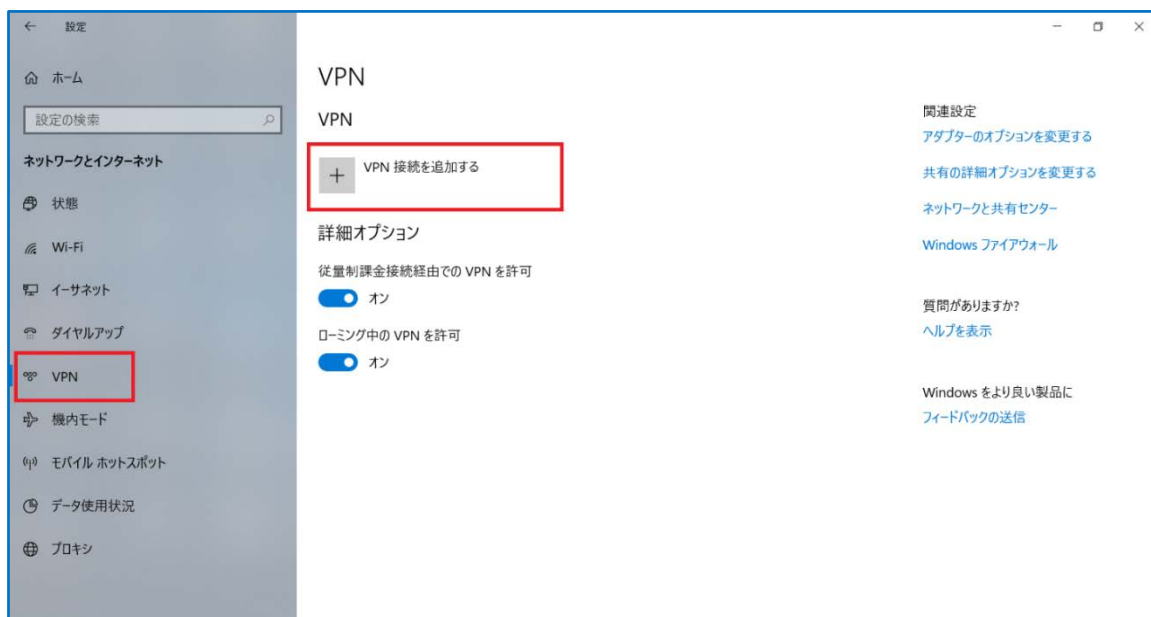
1. 「スタート」をクリックし、「設定」をクリックします。



2. 「ネットワークとインターネット」をクリックします。



3. 「VPN」 をクリックし、「VPN 接続を追加する」をクリックします。



4. 各設定項目について、以下の項目に従って設定します。

項目名	説明
VPN プロバイダー	「Windows(ビルトイン)」を設定します。
接続名	任意の接続名を設定します。
サーバー名またはアドレス	管理者から通知された「リモートサーバ IP アドレス」を設定します。 ☞ P.8 手順① 設定情報の入手
VPN の種類	「事前共有キーを使った L2TP/IPsec」を設定します。
事前共有キー	管理者から通知された「事前共有鍵」を設定します。
サインイン情報の種類	「ユーザー名とパスワード」を設定します。
ユーザー名(オプション)	管理者から通知された「ログイン ID」を設定します。 ☞ P.8 手順① 設定情報の入手
パスワード(オプション)	管理者から通知された「パスワード」を設定します。 ☞ P.8 手順① 設定情報の入手
サインイン情報を保存する	チェックを入れます。

補足 本マニュアルの設定は例です。

5. 設定後、「保存」をクリックします。

VPN 接続を追加する

VPN プロバイダー
Windows (ビルトイン)

接続名
テレワーク

サーバー名またはアドレス
xxx.xxx.xxx.xxx

VPNの種類
事前共有キーを使った L2TP/IPsec

事前共有キー
●●●●●●●●●●●●

サインイン情報の種類
ユーザー名とパスワード

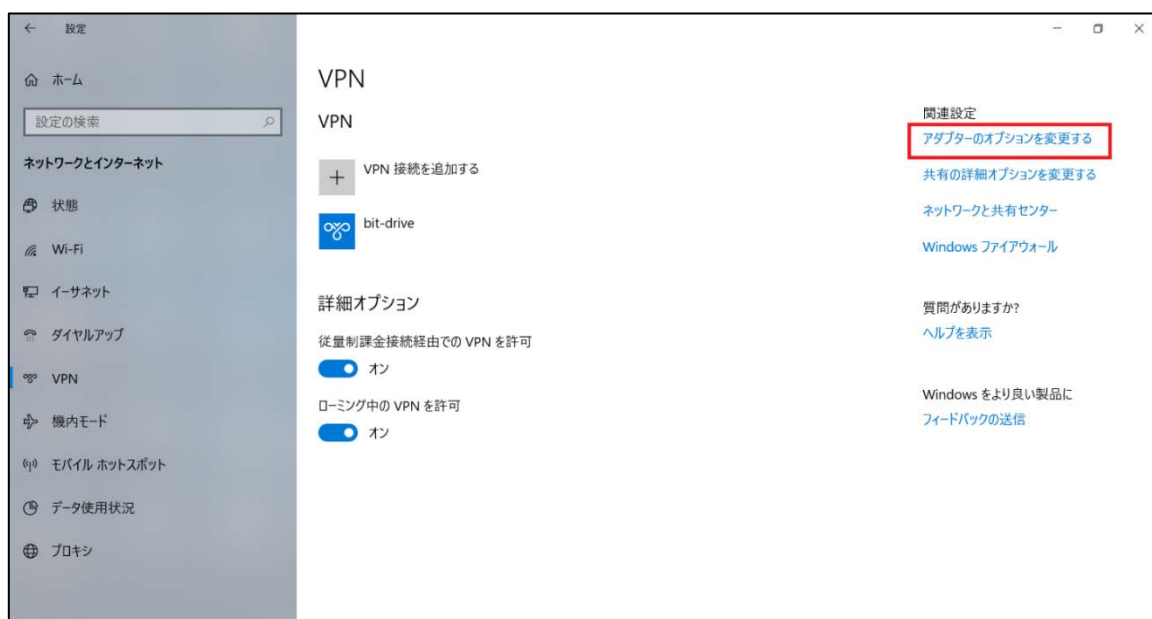
ユーザー名 (オプション)
xxxxxxx

パスワード (オプション)
●●●●●●●●●●●●

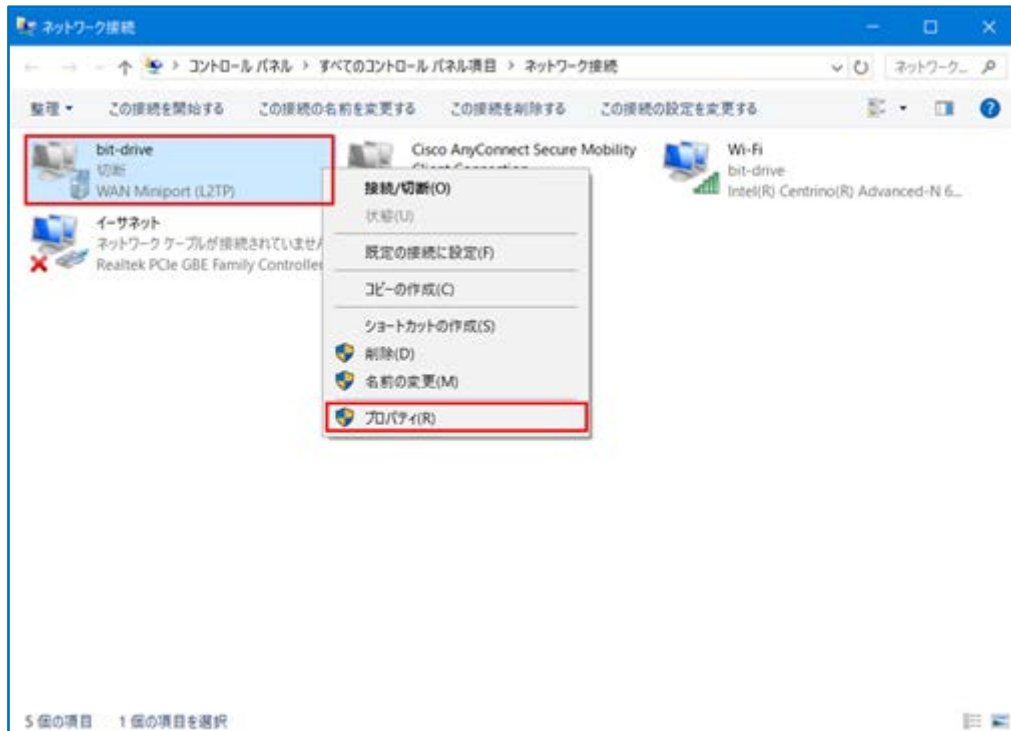
サインイン情報を保存する

保存 キャンセル

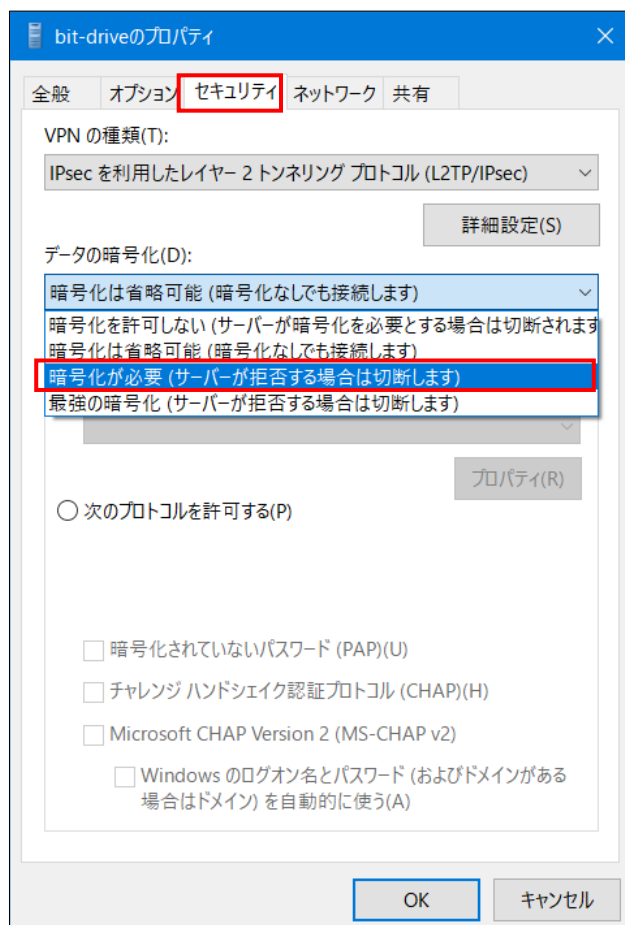
6. 「アダプターのオプションを変更する」をクリックします。



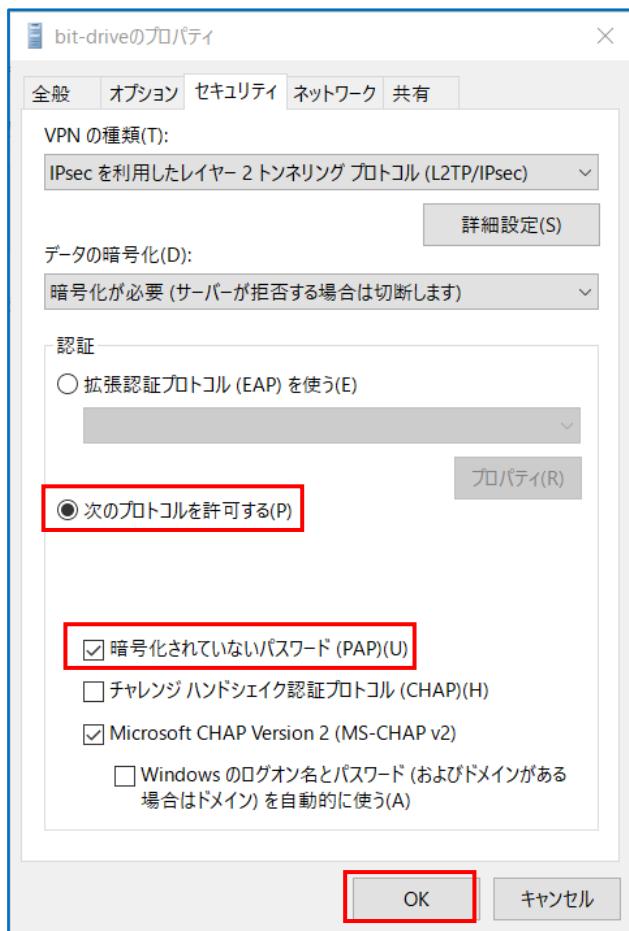
7. 作成した設定項目を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



8. 「セキュリティ」タブを選択し、「データの暗号化」のプルダウンメニューから「暗号化が必要（サーバーが拒否する場合は切断します）」を選択します。



9. 「次のプロトコルを許可する」を選択し、「暗号化されていないパスワード (PAP)」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



2-2 VPN 接続方法およびエラーメッセージ

1. タスクトレイのネットワークアイコンをクリックします。



ネットワーク一覧が表示されます。

2. 作成した仮想プライベートネットワーク名をクリックします。

補足 本マニュアルでは、例として「テレワーク」という名前で作成しています。



3. 「接続」をクリックします。



ネットワーク認証画面が表示されます。

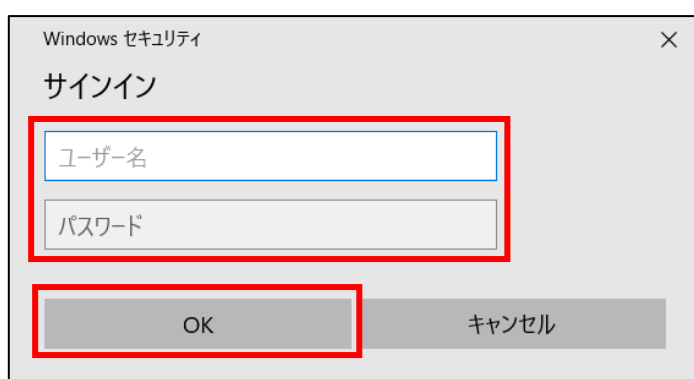
4. ユーザー名、パスワードを以下の項目に従って設定します。

項目名	説明
ユーザー名	管理者から通知された「ログイン ID」を設定します。 👉 P.8 手順① 設定情報の入手
パスワード	管理者から通知された「パスワード」を設定します。 👉 P.8 手順① 設定情報の入手

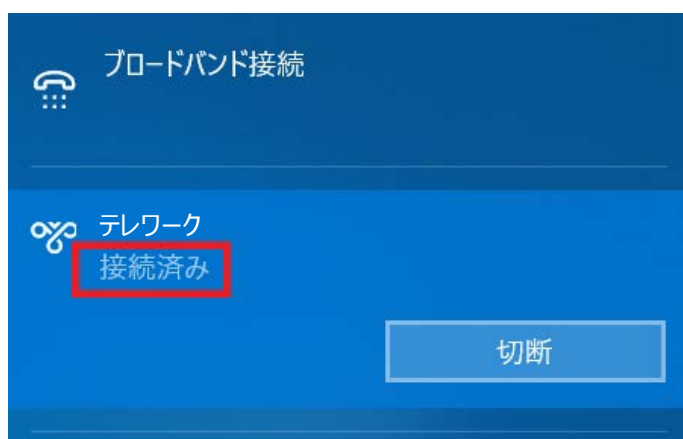
メモ


- P.8 にてサインイン情報を保存している場合、ここでのユーザー名/パスワード入力不要となります。

5. 「OK」をクリックしてVPN接続を行います。



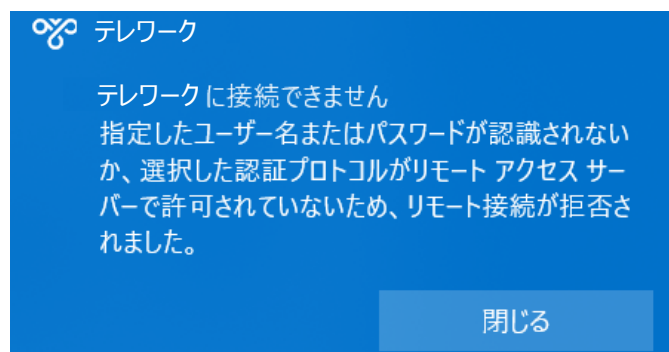
接続が完了すると作成した仮想プライベートネットワーク名の下に「接続済み」と表示されます。



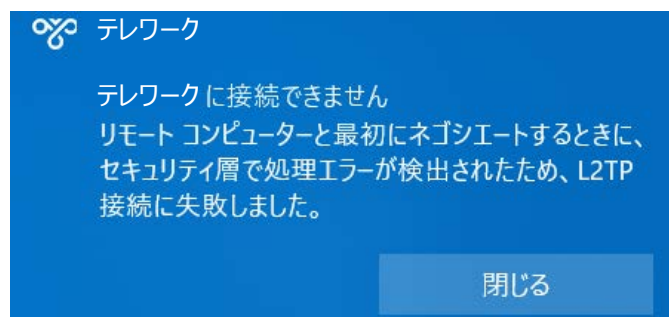
接続に失敗した場合、 > 「ネットワーク設定」 > 「VPN」よりエラー状況を確認することができます。

[エラーメッセージ]

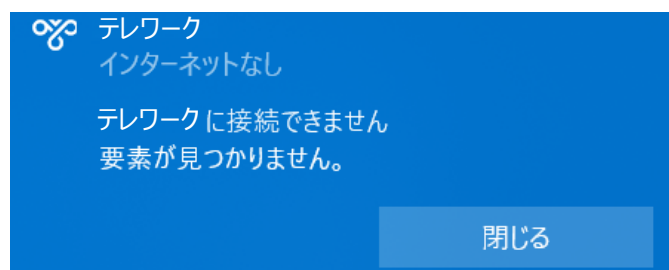
ログイン ID、またはパスワードが間違っている場合、以下のメッセージが表示されます。



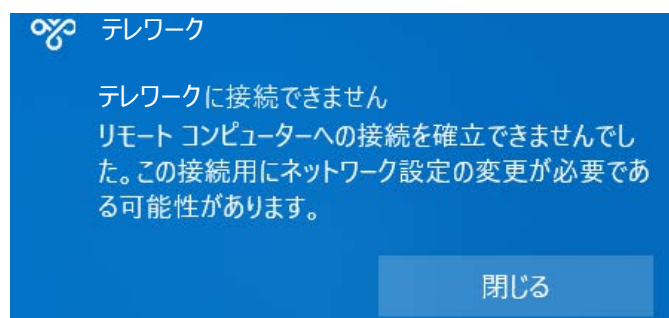
事前共有鍵が間違っている場合、以下のメッセージが表示されます。



通信が有効でない場合、以下のメッセージが表示されます。



通信が不安定な場合、以下のメッセージが表示されます。



2-3 切断方法

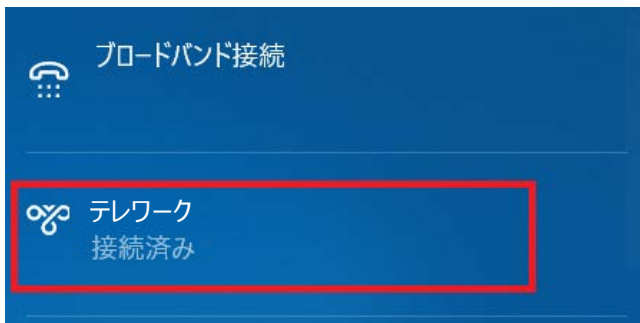
1. タスクトレイのネットワークアイコンをクリックします。



ネットワーク一覧が表示されます。

2. 作成した仮想プライベートネットワーク名をクリックします。

補足 本マニュアルでは、例として「テレワーク」という名前で作成しています。



3. 「切断」をクリックします。



切断が完了すると「接続済み」表示が解除されます。